



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	国民社会の研究 第22巻
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Description	『鈴木栄太郎著作集 7（国民社会学原理ノート）』を出版した際のソースとなった原稿である（同書内での言及による）。
Issue Date	1962-09-27
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/78349
Type	manuscript
File Information	I025_0140.pdf



Standard Note

MADE OF FINEST PAPER
PREPARED IN TOKYO

40

國民社會の研究

第二十二卷

昭和十九年一月二十三日

FS

国策パルプ専売工場特選紙使用

ESD - NOTE

スウェーデンの憲法宣言

「私がかつて幾度も讀んで居るアレクサンダー・レーサー、ナポレオンその他諸公の如きや、
そうして、同じことを経験して、
偉大な偉人たちの例やあやまちが、私の
胸中を去去した、
……」

近代史とは、いかに悲惨な、
統治に成功するといふほど、
奇跡的な出来事
を果して実現するものか、と私は自問し、
私の抱いてゐる疑問は、
ますます大きくなり、
私の不安
も大いに実質的なものとなつた。
しかし、
疑念が私にとっては、
最大の力の源泉となつた。
不安が私の持つ最大の力の源泉となつた。

高橋司令官に任命された時、向う、私は

その後、天竺より日本改組の機嫌を伺い、実

施したかう進め、ゆくための政策を作り

あげていた。私は日本の行政組織、その弱

と長といったものを完全いのかんていたが、

私やろろと考えて、一連の改革の案を

現代の必要の思想で作り出し、い

ゆくのには、むしろ感してゐた。まず軍力を

粉碎する。次いで、戦争犯罪者を処刑し、

代表制に基づく政治形態を築き上げ

け。憲法を近代化する。自由選挙を行

い、婦人に参政権を与え、政治犯を釈放

し、市民を解放する。自由な労働

部を育て、自由経済を促進し、富を

富より豊度を増進する。自由で責任ある

我同を育てる。教育を自由化し、政治的

権力の集中排除を促す。そして宗教を

口衆をも分断なしにマッカーサー回教に

大ニ帰る日本を解放し、疑義

マッカーサー軍政の終止、平和の到来、軍

事を支拂す。そしてそれによつて神話

的信仰の上に、日本を、神に、完

全に力カルして、その上に人同尊厳の精

神の上に立つ、民を、主権、自由、平等を

建設しようとしたのであり、代表制にも
とづく政治形態を築きあげ、憲法を介
して代議政治を行なう。貴族と婦
人と政治権を古い抑圧から解放する。
思想の自由、経済の自由、教育の自由。
自由な労働運動。地主より農民の
解放。自由の権利を我々の手に。
そんな自由を我々が実現しやう。其の
宣言は、
「自由の権利を我々の手に」
これは従来の日本における政治史の
中に実現されなかったものである。
選挙の制は、実現されず、既に久しい

か、不正と暴力に汚染され、婦人や
政治家や市民は制圧し如何に平定
となり公的な権利はもていてもな
にない。

神話と暴力のみに奴隷化されて
いる日本人はマンカーサの皇室を
同じで蔑視してあつたが、
今は余力さへもつていながら、

然し今この皇室を護ると、この皇
室が如何に救世主的のものであるか
知事である。この皇室はかつて
日本を統治した統治者の一人

政治のありかたは、政治を

おもしろくするものである。

このカサの宣言は、政治は

何よりも彼ら日本人を人間の

集まりと認めていると云ふことである。その

二、政治は、その集まりの人々の中から

選ばれる制を、即ち代表制を

これからの日本の政治形態の根本に

勘定していることである。政治は、若くは

政治の中心は人々の中から選ばれること

と、その原則の上に立つ政治形態

では、治者と被治者が別にある

男に、いゝのて、いゝを言ひしてゐる。あゝ
ふ方が他方より擧取するのみを
考へる政治であらう。他方を自
分と同格な人間と見做さず、果に自
分の生活のために役立つ果實のもの
に遇ふたうと考へるわう。それはたゞ
政治として、他方と対等の立場で考へ
る政治下である。要するに、
服従してゐる被征服者として、生殺
予奪の權を自分握るゐる。弱
者として、口舌を吐いて素直に言
ふ。日本の政治家の態度は、
為

マッカーサンの改定を我々が欲したところ
元は正に晴王の御辟戸であつた。
治めようとするものでも、若くは人同
じである。商人も人同じである。う
政治にあたりせよと云ふ思ふ、わが
民を我々の原則はマッカーサンの
言のあたふ時、早く早やなり。未だ
に冥途にいながら。

一月二十日

マッカーサンは回教の中に敗退
我々が日本の本に立つて後の様に
おべし。

「日本は二十世紀に何みから、何ら
んとありゆゑ、また、また封建時代を
さまよつてゐる」云々、古めかく二う
固まり、明治体制の下で天照大神の
直系の子孫の子孫として絶対的な権
力をもつ天皇が、口実をもつて、その
独裁的な権力は軍部官僚財閥
が三位一体となつた専断政治を行つた
と云ふのである。

基本的人権をいふ力けりもなく農民
階級者といふ階級の経営者なく、
国民大衆は強引に容赦なく搾取

それといふ。いわゆる危険思想と稱
されんものす。いふに、家へ移す。犯罪
見なす。小、秘密貯蔵。あうゆ。
家庭には、いり込んでる。ういつん思ひ
の持主を嫁とし、年々いしく強圧し
致す。五、六年に、この密貯蔵と稱は
れ、秘密貯蔵と稱に、危険思想の如
く、速に捕さる。た日本国民は、ほとん
ど人々に、著し、いふ。日本は、まさ
に神話から
抜け出たような口になったのである。

マッカーサーの
中へ編み込まれ
た秘密貯蔵

近代の家の外へ
移す。その
は、秘密

的に、民衆の家に、日本は、當時の大
阪、さいかい、近代の、その、所、に、使、す、も、あ
る、は、な、か、う、て、然、し、書、時、より、今、日、では
、其、地、か、と、水、文、の、近代、に、象、化、し、た、か
、それ、は、疑、問、下、あ、る、。

(18) 又、新

ソ連の横断 邦記
三九一、二五部、日、五、四

ソ連の北海有し占有論と近代の東洋

ソ連は連合軍が日本を占領した

初にマ、カ、サ、に日本二分、福、北海也

ソ連統治部を提せし半は管、近、的

は、其の主張の根拠を述べた、(論)

この場合、ソ連は北海道を日本が

切斷し、ソ連の統治下に置きた、

が、其の法は何のみに提せし、た、

二、北、が、其の、法、の、根、拠、の、

法、則、と、類、を、つ、て、并、え、北、は、其、の、

と、あ、る、か、ソ、連、の、主、張、の、根、拠、に

と、い、ふ、は、二、北、と、同、様、の、没、略、

政策は解決されぬまま終る
行つてゐるところであつて、朝鮮の南北
中国の一方独逸の東西皆中国
様であるが、この場合、遠く受
け持つ、隔けを越へたものとは同
じではない。

共産主義の発展のため、スウェーデンは
世界の形勢を遂に恐る可き勢力をも
つてゐる。共産主義は社会政策の
発展のため、他國の発展を妨げるものではない。
これらの考えの根本は誤りではない。

然し、速かたもあつて、弱々しく、又作

直接
同接

その一部を共済を促して、その統
治下に置く。ば、その統治される人々
の幸福の爲に大なる障礙の如くなるす
るのであるが、又、その事の（利益としての
勢力の拡大の爲の侵略として
ある）事はあるが、そのか同様に、その
北海道を統治しようとするか、した
らば、北海道住民の幸福の爲に
統治せよ、と云ふ事は、あるが、その
し、その事の（利益としての）
爲に、その事を、その爲に、
その事を、その爲に、その事を、
その事を、その爲に、その事を、

① 聯合口軍會議に於ける

その臨時聯合の代表は降伏の日

本に於ける聯合軍の取柄は

甘まずきものと會議の中にも

といふ。聯合は日本を

イタナナヤるか当分である

して、その其の聯合の統治下

北海道に入つていながら、

熱心界の感情をもつてい

な情であること、

その二、其の善悪の福音を

のみの傳へが、と、

たであらう。

ナレ、も、多く利用する、

の日本人、漢、口、境、線、侵犯、の、

捕虜として、

このタン、の、占有、の、

つ、聯合、が、北海道、民、に、

善、悪、の、幸福、を、

統一、と、

この、ヤ、の、抑、

の、熱、心、

降、使、の、主、

無、敵、に、

力、を、

二、

力、を、

せしむる以上は御裁き等の様は
歸つたやにある。火焼いて金ばうと
若くは金ばうと勝手である。勝手
されすれば、いんちやでもおもしろい
不平があるやうである。一原の
しやうと、たうと、たうと、たうと、
たうと、たうと、たうと、たうと、
これ外は、たうと、たうと、たうと、
え、え、たうと、たうと、たうと、
たうと、たうと、たうと、たうと、

一月二十四日

マ
カ
ー
の
天
白
粉

2
2
1
1
2
2
2
2

27

口
氏
氏
大
張

エ
シ
テ
リ
ヲ
我
カ
ラ
は
す
く
つ
く

12. 郭書
知
仁

我記人方

SC
L
R

力
一
十
一
十
本
在
古
一
神
子
的
古
代
上
氣

力、長元町下迄

人口学改革
不可不力

人々々々々々

た
21
量
つ
あ
と
と
代
い
組
て
る

の方針で思ひ生る事

考

[illegible]

7
7
9
70
2
15

28
1
72
7

20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100
101
102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120
121
122
123
124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199
200
201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
223
224
225
226
227
228
229
230
231
232
233
234
235
236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
331
332
333
334
335
336
337
338
339
340
341
342
343
344
345
346
347
348
349
350
351
352
353
354
355
356
357
358
359
360
361
362
363
364
365
366
367
368
369
370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
415
416
417
418
419
420
421
422
423
424
425
426
427
428
429
430
431
432
433
434
435
436
437
438
439
440
441
442
443
444
445
446
447
448
449
450
451
452
453
454
455
456
457
458
459
460
461
462
463
464
465
466
467
468
469
470
471
472
473
474
475
476
477
478
479
480
481
482
483
484
485
486
487
488
489
490
491
492
493
494
495
496
497
498
499
500
501
502
503
504
505
506
507
508
509
510
511
512
513
514
515
516
517
518
519
520
521
522
523
524
525
526
527
528
529
530
531
532
533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
563
564
565
566
567
568
569
570
571
572
573
574
575
576
577
578
579
580
581
582
583
584
585
586
587
588
589
590
591
592
593
594
595
596
597
598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
631
632
633
634
635
636
637
638
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
650
651
652
653
654
655
656
657
658
659
660
661
662
663
664
665
666
667
668
669
670
671
672
673
674
675
676
677
678
679
680
681
682
683
684
685
686
687
688
689
690
691
692
693
694
695
696
697
698
699
700
701
702
703
704
705
706
707
708
709
710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
740
741
742
743
744
745
746
747
748
749
750
751
752
753
754
755
756
757
758
759
760
761
762
763
764
765
766
767
768
769
770
771
772
773
774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
796
797
798
799
800
801
802
803
804
805
806
807
808
809
810
811
812
813
814
815
816
817
818
819
820
821
822
823
824
825
826
827
828
829
830
831
832
833
834
835
836
837
838
839
840
841
842
843
844
845
846
847
848
849
850
851
852
853
854

今軍政の案件はあつた。

4 4 3 我 な 4 3 7

五、九、五、二、は、面、倒、り、

15
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49
50
51
52
53
54
55
56
57
58
59
60
61
62
63
64
65
66
67
68
69
70
71
72
73
74
75
76
77
78
79
80
81
82
83
84
85
86
87
88
89
90
91
92
93
94
95
96
97
98
99
100

この上には日本の民衆代表案

2
(7
lp
4
13
7
7
2

便座のみに不適当に浮く

あゝ又冬村を行動を待たいと云ふのは
で思つてゐるであらう。知し天皇制を温存せし
めて民を教化するは絶対不可能かも知
れぬと云ふ事マツカサは其のは知つてゐたが
も知れぬ。

あの頃にはマツカサが危惧してゐるを実行し
てゐたが、その頃、大戦したヤミ多戦をモ
起つたかも知れぬ。だけれどもあつた五十年の
間は、^{終戦迄は}其の原動力の存在に於て天皇制
も其著にはあつた。終戦してから、^二に兩派の力
を組織して、^二も、^二知れぬが、^二存在となつてゐる。

マンカーサの天皇陛下に
ては果しありと云ふが、彼が日本の民
の民族化の途程を執つた口實
兩邊の達成に誠意をもつたは
又突つたりと彼が解者であるが
被征服者の日本国民と同列に立つて
日本と東の兩邊を考へる。これは彼が
日本の征服者の政治意識と全く
異なつてゐる。

日本における統治の原則を整理して

一、天皇

(大正2, 224)

一、聖徳太子の十七箇条憲法

二、これは国家の社会の首徳を

を教えるもの、国民を教えるもの、

一、大化改新の聖徳太子

田である、田を教えるもの、

收納する、金銭の交換の

大化改新の聖徳太子

一、天皇と家系の領土とを

口民は土地に附着するものとして

地をいふ。

一、大隈城壁の中、二、公一民の項の

一、治世大方向中の「民百姓」が課税
 普及されて一たは一つの事である。日本
 本では統治と民百姓より上納米を
 とり立てる税徴と方法を整備するの
 て、あつた。そして過るにはなつたマウカ
 サの害は、たかたきお下そうである。

二月四日

幕府は大藩の強大化の抑制に努めた。
徳川幕府は大藩の強大化を抑制す。
めに格別の御教を用いた。前田藩が銭金
五兵衛の財力を用いて強大となる。をあるん
で海防によつて五兵衛を獄に入れたりや
島津藩の財力を消費せしめんとして
美濃にあげ、大治水工造り、三河合流の
工事を命じ、工事にあつたサマ武士の一同
が乱暴し、貴を威しておどした。
件があつた。又、お咎めをうけた。
幕府は最高の統治者の心を苦しめた。
は最も多く大藩を上牛にする。
であつた。

レ
フ
ジ
ー
は
群
団
で
あ
る
集
団
で
は
な
い

香港の中口新氏は団体としての統一を
 図る所も、この統一が、革命を
 に来た中口の旧財閥の七の五の金策の
 目的と未だに在るものと、革命は
 政治に協同するたてで進んで来る
 ところとは、其の目的人ではある、同
 類と見做す事は出来ぬ。
 同氏はこんな結果の中から、とる、
 政治的統一や経済的統一が、
 いかんか、である。

23 乗車券買入の退新や露香斎の
終戦直後の臨時刑罰における駐駅の

地方の政治の混雑を整理してし
ていには、^{や地元の自治} 統一の
と云ふヤクサの一面で、その大勢は巨万
の富を有してゐることを同一してゐる。

文化史の点から見て、
氏部群の形成は、
統一が、
これらも何れの段階にも共通する、
統一の形成の原理は、
それによつて、
同一種類の食料を同一の場所で獲
得するに混雑を免ずるに相違ない。

その混雑を救済する一人又は何人か
の人の出現は必要であらう。その人又
は何人かば混雑する群の全員の中
から出現するのではなく群とは別の
種類の人である。食料を求めようの
即ち互の時に食料を求めようの
ではない人である。私があるいは
統治される人として統治する人とは
生活の中にとこか一寸異なるところかある
のである。政治的に活動する人は政治
される一般の人とは性格がかなり異な
るのか。職業的政治家は天分によ

2 場合があるであろうが、それこそ
 3 であるが、如何時代の時代をさして
 4 はないだろうか。漫然といふ群を
 5 隣の下で傍聴して、さうして時代を
 6 分神喜をさし、時代をさす、さうして
 7 口を閉ぢ、口を閉ぢ、口を閉ぢ、口
 8 口を閉ぢ、口を閉ぢ、口を閉ぢ、口
 9 口を閉ぢ、口を閉ぢ、口を閉ぢ、口
 10 口を閉ぢ、口を閉ぢ、口を閉ぢ、口

し、この4は武力をたねるかに頼みの
野合である。今更にはあつと云
なく何れかの口元即ち武力同に
取寄してゐるから、その間の環境
りば甚だ複雑であるから其力のな
い側も加ふよりほゞ完全なるもの

の秩序や成長はなかりである。
統治の枠内においてのみ文化は成
立し秩序を形成する。
口説き含めると口説き含められ
て成り立ちし相互の秩序を
形成し、それはまた一つの
秩序である。

現存する日本書は、何れも古くから
ついでに、政治の秩序をなすもの
改定して存続してこつてゐる。
王制が受けたのは、そのうち
と中世に政治の度か甲の諸部だ。

30 この階級は、そのうち甲の諸

廣くして政治を安んずる爲め、
新に政治より民衆政治に改められ
今階級革命の時に至るゝのみか、
統治者のものの關係は強き要
ものでない。庶民の立場から出
れば、舊の政治が極の政治に成る
た位で統治のうけ方は少くも要
いなり。そんな要うな統治を
どのに民衆も古代から同一の政
で受け止めて来た。統治者の立場
は、なりやうが、多ういふて、
かといふも、その代りには、
31

せりやのし

とこの土地も口家と云ふのは

ゆえいよ

すゝもた致て連今口件同不致

候日の海軍を計たは、ソ聯と

米にが一にも二倍し、経済に

いよ、致し、星、此の非、わ、る、わ、る、

大と共、い、る、大、は、米、の、面、口、件、と、聯

は、旧、延、民、世、の、降、被、に、接、助、し、共、表

國、を、振、大、し、た、よ、と、共、口、件、と、聯

世、世、や、も、自、生、次、海、地、と、し、と、弱、や

口、家、や、復、國、を、い、と、と、接、助、し

つ、果、た、す、い、よ、り、接、助、の、非、口、家、が

① 國語学原形 若手

一 方言論

二 方言の概念

三 方言の存在理由

四 方言の構文

→ 二 方言の形成の過程

方言の形成の過程
方言の形成の過程

五 方言の形成の過程

方言の形成の過程

一 民族と交際の制度

自然法学者の国家観

此の如く自然状態はホッブズの
場であり、政治社会として
たえず国家を暗喩する。高田
博士の金徳説をサハラのコミューン
というは、皮肉の甚き予感として
いるのは、ホッブズか。 (cf. 南野 2011)
自然状態は国家の向や離れを
はたし。国家は命を止め、
強力者の暴力であり。国家は
自由の地に生れたのではなく、
誰かが、何人かの誰かが
誰を支持して誰に造らせしめるのである。

自然法主義の税論とマキバーの

高田の税論が余の口説きの
税論の先駆税論であることは
否定しない

自然法主義の税論は欧米に

最も接近した口説きである。

コングレスの税論や金庫の税

論は自然法主義の国法主義の

口説きの自然法主義の主義を

述べている。

然し自然法主義は憲法の精

神を概知してはならない。

マキバー！高田は只の自然法

概してその本に於けるもの。
強力によつて実証法が断定された時の
革命的口氣が發せられる。自然
状態が打破され、口氣を成す
させようといはれて立つ。そこに能く
個々の若者の分岐點がある。

二月十六日

移民団は受入れ口の統治下にある。

移民団には自治は必要でない。
あればそれは便宜のためである。移民
団には集団性も必要ではない。
受入れ口の治下にその口の口民
に準じて統治される。

華僑には集団性がある。だから
各地華僑会を統合して、聯合
の組織さえある。然し原則として

華僑会の受入れ口の治下にお
くべきにはあつた。然し華僑は
口民を形成する直前の状態に
あつてもよい。土地を持たない弱は

※ 華商は可耕地又は借地の
形で土地を占有している。若し日本
の如くどの程度あるか。
外人の日本居住者は日本の国民
に準じて同様の法律によつて律され
ると思ふが日本国民と異なるとんた
特殊の取扱いを受けるか。
法律上華商の集居地を認め
てゐるか。

おりの華商は如何

40 身は充分ある。然し外人可耕地又は
借地の形で土地を占有している。
華商は多つてある。大地主になつ
てゐる華商もある。※
華商の財力によつて日本の一ヶ所
又は数ヶ所に広大な土地を保有する
ものは充分に可能である。それだけ
な軍需施設を建てることも可能であ
る。兵を養ふことも可能である。
そんなものに対する制限のみの規定は
ないのか。
△何口系
日本米の市民と
移民国と華商と日本とを同一に
移民群とし

て見るとは必要である。

難民の定数は未だ定かたない。租口
に逃れて他口内難民となる場合
今もあれば、沖縄の如く、その居住
地が他口内編入された場合、恐らく
共産圏に編入された場合、又は他口の治下地方又は
民族又は口民はやはり同様のもの
であろう。

せめておりの多口籍者調査

ヤフウスにおけるとヤリヤおとんの事
の対応

人同移住の工廠の認識

世界のなかには大規模の移住現象の歴史及び日本国内における移住の歴史を遡及し直して見ると驚くべきものがある。

29250